

## **基本方針 2**

### **変化に対応できる行政経営**

**個別方針****2 - 1****持続可能な財政運営**

- ・ 市民生活の質を高める施策、事業等を将来にわたって行うことができるよう、健全で持続可能な財政運営を維持します。
- ・ 市税や保険料等の適正な賦課・徴収により、負担の公平性を保ちながら、財源を安定的に確保します。また、施設使用料や行政手続の手数料について、定期的な検証、見直しにより、受益者負担の適正化を図ります。
- ・ 自主財源の確保に努めるとともに、国や県の補助金等の積極的な活用を図ります。
- ・ 財政状況等に関する情報の公開、また、企業会計の要素を取り入れた統一的な基準による財務書類の作成・公表により、説明責任を果たします。

**個別方針****2 - 2****機能的で強靱な組織運営**

- ・ 近隣自治体をはじめ、民間事業者や学術研究機関との連携を深め、広域的な課題や先進的な課題の解決を図るとともに、地域における課題等に対しては必要に応じて市民と協力することにより、施策等の効果を高めます。
- ・ 行政施策を効果的に展開できる実行性を備えた組織体制としていくとともに、必要に応じてプロジェクトチームを設けるなど、庁内連携を強化します。
- ・ 民間事業者等へのアウトソーシング（※１）について、引き続き、有効性を見極めたうえで導入します。
- ・ 大規模災害時において、行政サービスの提供を維持できるよう、体制を整備します。また、地域防災計画と連動して、随時、業務継続計画（BCP）を改訂するとともに、訓練等も行うなど、実行性が高まる業務継続体制づくりを進めます。
- ・ デジタルガバメントの実現に向け、AI（※２）、RPA（※３）など進化を続けるデジタル技術の存在を前提として、従来の行政サービスのあり方にとらわれることなく、業務改革を行い、取り組みを推進します。また、市民の誰もがデジタルサービスを利用できるよう UI（※４）／UX（※５）に配慮するなど、デジタル化の恩恵を受けることができる環境を整えていきます。

※１ アウトソーシング…専門性を有する外部の企業などに業務を委託することや、外部の人材等を活用することをいいます。

※２ AI…Artificial Intelligence（人工知能）の略です。

※３ RPA…Robotic Process Automation の略です。パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のことです。

※４ UI…User Interface（ユーザーインターフェイス）の略です。一般的にユーザー（利用者）と製品やサービスとのインターフェース（接点）すべてのことを意味します。

※５ UX…User eXperience（ユーザーエクスペリエンス）の略です。プロダクトやサービスを通じて得られるすべてのユーザー体験を意味します。

- ・ 公共建築物及びインフラ施設について、維持・更新の費用や単年度支出の抑制にも寄与するよう、計画的な改修や修繕により、施設の長寿命化を図り、最大限有効活用するとともに、市民ニーズを捉えながら、適切なあり方の検討を進めます。
- ・ 公有資産については、市民サービスの充実に前提にした貸し付けのほか、資産全体の状況や、公有地等が所在する周辺状況を踏まえた売却の検討など、有効活用、最適化に向けた運用を図っていきます。